

1. 事業の位置付け

事務事業名	平和意識普及・啓発事業		
事業担当	総務部 行政総務課		
予算科目	01-020101-120000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	02	2 平和・人権に関する意識啓発を推進する	
根拠法令等	核兵器廃絶平和都市宣言(昭和60年12月20日告示第178号)		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働: 各種市民団体、学校等】		
目的・目標		事業の概要	
市民が平和の尊さ、大切さを自覚し、市民平和のタペなどの平和推進事業に積極的に参加し、協力しています。		恒久平和を実現するため、核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、平和の尊さ、大切さを訴える平和意識普及・啓発事業を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	市民キャンペーン実施回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			4	4	4			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	平和意識普及・啓発事業参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			5,000	5,500	6,000			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①: 予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
平和キャンペーン、市民平和のタペ、市民広島派遣、空襲・被爆体験を聞く会などを計画的に実施したことにより、広く市民に平和の尊さを訴え、平和の大切さを市民とともに考える活動を展開することができた。									
平成19年度の検証結果	A: 成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	恒久平和の実現に向けての取組は人類に課せられた共通の義務であり、テーマである。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	目先の流行や社会の潮流に流されることなく、地道な活動を続けることが重要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特定の考え方にとらわれることなく、広く市民に訴えかけていく必要がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	多様な価値観を取組にいかす必要があることから、市民団体との協働により進めている事業であり、その内容とプロセスに効率化等を求めることは難しい。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 平和に対する考え方は個人によって異なることから、行政がひとつの考え方を強制することなく、市民自らが平和に対する関心を持ち、平和についての理解と認識を深めていくための意識啓発が図られる必要がある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				市民平和のタベ、 キャンペーン、広 島派遣等	市民平和のタベ、 キャンペーン、広 島派遣等	市民平和のタベ、 キャンペーン、広 島派遣等		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,953	2,931	3,031	0	0
事業費 (A)		0	0	2,953	2,931	3,031	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	96.41				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.80	1.80	1.80	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	15,104	15,104	15,104	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	18,057	18,035	18,135	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 人々に平和に対する意識が根づくよう、一過性のイベントに頼ることなく、地道な取組を続けていく。	
平成21年度取組方針	
協働による取組の観点による謝礼等の圧縮や、消耗機材費用の削減に努める。	
課長コメント	市民自らが平和の尊さを考えるための助けとなる事業を着実に続けることによって、意識啓発を進めていく必要がある。